

第3次 山田学区住民福祉活動計画

ひろがれ やまだの和・環・話 ~ひとと人のつながりを求めて~

活動の種類・項目		活動の例	活動の目標、活動プログラム	実施の年度
福祉の土壤づくり	地域福祉への関心の醸成	地域の福祉意識の向上 福祉講座、福祉懇談会、人権研修、障害や認知症への理解	座学を中心とした「福祉講座」やグループワーク等の議論を行う「懇談会」、また、人権研修、障害や認知症への理解を深める取り組みを実施していく。	R3→R7
		健康維持・増進 介護予防、百歳体操、ウォーキング	ウォーキングやグラウンドゴルフ、百歳体操などの健康づくり事業に取り組んでいく。 ウォーキングコースの提案や、健康で長生きに必要な地域との繋がりについて啓発していく。	R3→R7
地域の支え合い	活動基盤の強化	関連団体との連携・支援 関連団体に対する助成	学区内の各種団体に対する活動に協力、参加	R3→R7
		ボランティア団体の育成 ボランティア連携研修 ボランティア団体への助成支援	ボランティア講座を実施し、団体の育成と新たな活動の創造を目指していく。 ボランティア団体の活動を支援するための助成を行う。	R3→R7
		孤立防止 集いの場・居場所の開設 ふれあいサロン、地域サロン、日帰りバス旅行 (新) ふれあいカフェ	高齢者の外出の機会として地域サロンを継続して実施していく。 地域の交流の場として、ふれあいサロンや日帰りバス旅行を実施する。	R3→R7
	地域の絆の醸成	子どもとの繋がりの場 キラキラキッチンやまだっ子 見守り活動の充実	誰でも気軽に参加できる居場所づくりと、参画する喜びを分かち合える活動の場を創設する。 この場で、地域福祉を語る場にもしていく。	R3→R7
		登下校時の見守り、声掛け	「地域の子ども達」という考え方のもと、地域での子育てを進めていく。	R3→R7
		買物支援・通院支援 地域支え合い送迎	下校時に合わせて散歩をしたり、表に出向いて「お帰り」と声を掛けたり、黙って見守ったり、高齢者同士が井戸端会議をする等、見守り活動を進めていく。	R3→R7
	災害等弱者への支援	災害時要援護者登録制度 災害弱者の支援・情報収集	閉じこもり予防、介護予防、地域でのふれあいの場への参加等のため、助け合い活動の一環として移動困難者の送迎を実施する。	R3→R7
		福祉防災マップの作成	災害弱者を把握し、災害時要援護者登録制度に登録をするため、支援者などのマッチングのための情報提供や登録支援を行う。	R3→R7
		安心のバトン	民生委員を中心として、区域の支援が必要な方の緊急時の対応に備えていく。	R3 R5 R7
後継者づくり	福祉委員等の育成	福祉委員等の育成 福祉委員研修 福祉活動推進員の活性化	福祉委員や福祉活動推進員の研修を実施するなど、連携強化を図りながら、さらなる学区社協活動を推進していく。	R3→R7
	関連活動団体との連携	関連団体との連携	各種団体・事業所が顔の見える関係をつくり、情報を共有しながら、連携・協力して取り組みを進めていく。	R3→R7
	研修会への参加促進	研修の実施 ボランティア連携研修、人権研修	体験を中心とした研修を実施し、ボランティアグループ間の情報の共有と連携を進めていく。 「誰もが認め合うまち・人にやさしいまち」を目指して人権研修を実施していく。	R3→R7
		他機関が行う研修	市社協等の研修会への参加および要請	R3→R7
住民福祉活動計画の推進	住民福祉活動計画の推進	策定・評価 学区社会福祉協議会	山田学区住民福祉活動計画の策定および啓発、または評価を行う	R5 R7
		問題解決に向けた話し合い	地域の生活課題の解決に向け、支え合い・助け合いの活動の創設を目指します。 (①顔の見える関係づくり、②課題の共有、③資源の把握、④地域の実態を知る、⑤活動の創設、⑥周知・啓発・学習)	R3→R7
広報・啓発	広報・啓発	広報紙の発行	年間2回発行。全戸配布 単に活動報告ではなく、学区社協の思いを伝えるものにしたい。	R3→R7
		ホームページ作成	山田学区社会福祉協議会のホームページを利用し、PRを行う	R3→R7

*青文字は重点項目を表す

